

No.38
2019.May



JAAF
えんめ

一般社団法人 愛媛県建築士事務所協会



CONTENTS

会長ごあいさつ	1
特集	2
支部報告	11
委員会報告	
1. 総務・財務委員会	15
2. 業務・技術委員会	15
3. 広報・渉外委員会	18
4. 会員委員会	22
5. 教育・情報委員会	24
6. 青年・交流委員会	26
7. 競技設計委員会	28
賛助会活動報告	37
企業訪問	38
企業アピール	39
新会員紹介	41
おいら・あたいのふるさと紀行	
1. グルメ紀行	43
2. お土産紀行	45
編集後記	46

撮影：北村 徹

木構造によるモダニズム建築 八幡浜市立日土小学校

松村 正恒氏 プロフィール

1913年 (大正2年)1月12日愛媛県大洲市誕生
1935年 武蔵高等工科学校(現・東京都市大学)を卒業
土浦亀城建築設計事務所就職
1941年 農地開発営団を経て、終戦後は八幡浜市役所就職
1953年 江戸岡小学校(八幡浜市)
1955年 新谷中学校(大洲市)
1958年 日土小学校(八幡浜市)
1960年 文藝春秋5月号に建築家十傑に名を連ねる。
同年、松山市に「松村正恒建築設計事務所」を開設
1967年 持田幼稚園(松山市)など学校や病院を手掛けた。
1990年 新日本建築家協会第1号終身会員に選ばれる。
1993年 2月28日(80歳没)

松村 正恒氏による設計

八幡浜市立日土小学校/中校舎・東校舎

愛媛県八幡浜市日土町二番耕地851番地
木造、建築面積394.53㎡、二階建、切妻造、
スレート葺一部鉄板葺、南面鉄骨階段及びテラス附属
学校建築としてクラスター型教室配置設計を採用した
唯一木造による最も初期のもの

昭和30年3月(1955年) 西校舎新築落成
昭和31年5月(1956年) 中校舎新築落成
昭和33年10月(1958年) 東校舎新築落成

1999年 DOCOMOMO Japan 20選に選定
2007年 中校舎・東校舎 八幡浜市有形文化財(建造物)指定
2012年 ワールド・モニュメント財団/ノールモダニズム賞受賞
2012年 中校舎・東校舎 国の重文指定

新緑の候、「令和」の新時代を迎えて会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の事業活動にご協力とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年5月に会長を仰せつかり早や1年が過ぎようとしております。振り返ってみますと、6月の大阪北部地震を契機としたブロック崩無料現地点検(会員派遣)の開始、7月の西日本豪雨災害における建築士会等と連携した宇和島市吉田地区での被災住宅無料相談の実施と、相次ぐ自然災害に対して微力ながらも社会貢献、行政協力に努めました。特に、豪雨災害では私自身も相談窓口設置に立ち会ったのですが、建築物の安全・安心を担う建築士事務所としての使命感と共に行政や関係団体との連携の大切さを感じました。その後は落ち着き、定型的事業に加えて懸案である設備設計技術者不足問題に係る検討委員会の始動、各種講習、会員交流の充実などに努めて参りました。

さて、少子高齢化、人口減少社会に突入する中、建築士の高齢化、若年建築士不足に対応して、来年度から新卒者が受験し易い建築士試験制度が導入されます。しかし、若者に地方の建築士事務所を目指してもらうには、働き方改革が叫ばれる中、建築設計自体の魅力、やりがいに加えて労働環境の充実等が欠かせず、また、建築士事務所の健全な発展のためにも適正な業務報酬で受注することが肝要であり、当協会では、この1月に改正された国交省告示第98号の業務報酬基準の周知、普及を今年度の重点活動のひとつとして取り組みたいと考えています。

また、次世代を担う若手会員、若手所員の研鑽と交流の場として昨年度に組織強化した青年・交流委員会をはじめ、各委員会、支部活動を充実、活性化させ、更なる会員メリツトの向上と社会貢献の両立を目指して参りたいので、引き続き会員各位のご協力、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。



一般社団法人
愛媛県建築士事務所協会
会長 濱本 泰久

ごあいさつ

八幡浜市立日土小学校

日土小学校校舎は、八幡浜市役所の職員であった建築家松村正恒が設計し、中校舎と東校舎は、それぞれ昭和31年と昭和33年にかけて完成しました。

設計を担当した松村正恒は、昭和22年から八幡浜市役所に勤務し、昭和35年には、『文藝春秋』誌で日本を代表する建築家10人のひとり選ばれた人物であり、市役所の職員として担当した学校や病院関連の建物の多くは建築雑誌や専門書籍に掲載されました。

その中でも、日土小学校の中校舎と東校舎は、竣工当初より学界とジャーナリズム双方から高い評価を受け、さらに近年のモダニズム建築再評価の気運の中で、国際的にも注目を集める存在となりました。

その事実を象徴的に示すのが、平成11年近代建築の保存と調査のための国際組織DOCOMOMO日本支部によって、日本の近代建築20選のひとつに選ばれました。

その前後から、日土小学校のみならず、松村正恒および彼の作品全般についての再評価や研究がおこなわれ、一定の成果が蓄積されてきたと同時に、日土小学校の中校舎と東校舎に対する歴史的・文化的な高い評価も確固としたものになり、平成19年9月に八幡浜市指定文化財に指定されました。

全国的に見ても古い木造校舎は、改修するのか、改築するのかという議論が顕著化し、問題となりますが、日土小学校についても例外ではなく、地域を二分した議論が沸き起こりました。

議論の末、八幡浜市教育委員会として中・東校舎の改修、不足教室の新增築の方針を決定しました。

その方針に基き、平成20年9月から地震補強(中・東校舎)、新增築(西校舎)を実施し、平成21年6月末で保存再生工事が完成しました。

多くの方々のご協力をいただき完成した日土小学校校舎は、数少ない木造校舎の耐震補強事例であると共に、文化財の改修方法を用いながらも、現代の建築基準法等に配慮した全国的に見ても稀有な校舎であることから、全国から見学の依頼が多く寄せられることとなりました。また、この保存再生事業は国内外から高い評価を受け、2012年には日本建築学会賞(業績)とワールド・モニュメント財団/ノール モダニズム賞を授与されました。

そして平成24年12月28日、戦後建築としては4番目、戦後木造建築としては初の重要文化財に指定されました。





東校舎 図書室ベランダ



東校舎 東側テラス・池



東校舎1階 昇降口・廊下



東校舎1階 昇降口・光庭



東校舎2階 廊下・教室への階段



東校舎 階段室踊り場より



東校舎2階 図書館



東校舎2階 相談室(旧補導室)



中校舎1階 職員室前廊下



中校舎2階 階段室・中2階物置



中校舎1階 交流ラウンジより職員室・階段室

支 部 報 告

南予支部活動報告

南予支部長 松浦 洋



中校舎2階 音楽室(旧普通教室)



中校舎2階 普通教室(旧音楽室)



中校舎1階 職員室より交流ラウンジ

◆ 平成 30 年 6 月 21 日 平成 30 年度愛媛県建築士事務所協会南予支部総会

場 所 宇和島国際ホテル

参加者 20名(正会員11・賛助会員9)

例年開催している国際ホテルで支部総会を行ないました。本部総会後の会ということで総会の報告と会員増強が話題の中心になりました。改正建築士法が施行されて暫く経ちますが、いまだ会員外事務所等への周知徹底されていないことと、消費者保護の観点から益々我々の業務の責任の重さが増してきています。その為にも1人でも多くの建築設計監理に携わる者は協会活動に参画する事でより信頼を得る仕事に繋げてほしいと思います。

◆ 平成 30 年 10 月 19 日 平成 30 年度公開建築パトロールへの参加

対象区域 宇和島市

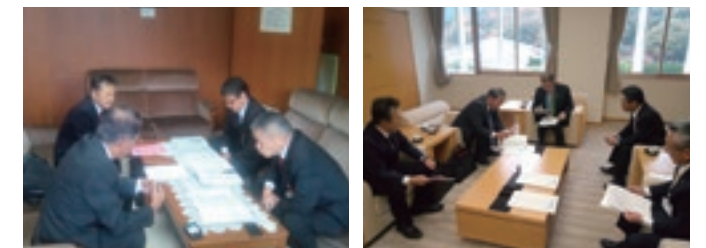
参加者 CI設計(池田 千代一)

(株)K建築設計事務所(豊田 恵介)

愛媛県南予地方局、宇和島市、消防、建築士会及び当協会各2名の参加で実施されました。例年の事ではありますが社会貢献の大切な事業として続けていかなければならないと思います。

◆ 平成 30 年 11 月 19・27 日 平成 30 年度共同要望活動の実施(南予地域)

今回から会長及び黒河事務局長の参加を得て、より充実した要望活動が出来ました。特に南予に於いては、県本部からの要望が大切ですので、今後ともこの形で続けていきたいと思ひます。



◆ 平成 30 年 12 月 14 日 平成 30 年度南予支部忘年懇談会の実施

場 所 宇和島国際ホテル

参加者 19名(正会員9・賛助会員10)

7月に起きた西日本を中心に発生した大水害において特に我々の南予にもたらした被害は絶大なものでありました。支部会員(都市空間設計株)の事務所も床上浸水で大変な被害を受けられました。改めてお見舞い申し上げます。当事務所も床上1センチ程度ではありますが水がきました。自然災害の恐ろしさをまざまざと見せつけられた出来事でありました。親睦を図る為の忘年会ではありましたが、緊急時での我々の役目を改めて考え、話し合う会となりました。

西日本豪雨被災地復興支援



平成30年7月7日南予地方を襲った豪雨災害、特に被害の大きかった地域として、大洲、野村、吉田の被害は、いまだに立ち直れない状態です。大洲地区は肱川流域の観測史上最大規模の洪水被害が発生し、野村地区は、ダム満水による放水等により目に余る被害が出ました。宇和島地域に於いては吉田地区のかんきつ園地の地すべり被害を中心に、法面崩壊による国道被害箇所7箇所と一部住宅地の床上浸水と身近に脅威を感じるほどの被害が出ました。

私たちは、県当局からの要請もあり、南予各地域へ連絡を入れ、その中から受け入れ要請のあった宇和島市において緊急被災住宅建築相談を我々専門家集団（士会・事務所協会合同チーム）のボランティア活動として少しでも出来た事は良かったと思います。

年末に入って、私たちのメイン事業でもあります愛媛県内高校生建築競技設計に毎年参加をして頂いていた吉田高校の水害被害が校舎本体ではなく第2グラウンド（御殿内）の水没で現在も使用できない状態である事を聞きつけ、大変遅くはなりましたが、会長指示のもと、私と松岡理事で高校を訪問しました。学校側には、安宅校長先生と機械建築科の萬家先生に対応して頂き、会長のお見舞メッセージを読み上げ見舞金を贈呈して参りました。高校生競技設計に対しては、他校に比べ厳しい条件下ではありますが、何らかの形で参加継続を切にお願いして帰ってきました。（後日、競技設計には住宅模写部門に1名の参加がありました）



被災住宅建築相談コーナー



安宅校長に贈呈

中予支部活動報告

中予支部長 林 貞義

平成30年度中予支部活動について、まず恒例の春の支部総会・懇親会、夏と新春の懇親会は多くの会員の出席により有意義な意見交換と親睦を深めることができました。次に行政協力・連携として、松山市違反建築防止公開建築パトロールに参加するとともに昨年度から実施している木造住宅耐震化推進の戸別訪問を砥部町にて行いました。

また、毎年実施している官庁への要望活動を、今年度も支部管内の各首長や担当部課長等に対して行いました。

要望内容は、① 設計・監理料は告示の業務報酬基準に準拠すること

② 価格競争入札においては「最低制限価格」等を導入すること

など前年度と同じですが、今年度は新たに県警本部を要望先に加えました。これは、県警本部発注の大型物件において4割未満での落札事案が発生したためであり、②の最低制限価格等の導入を強く要望したところです。

なお、要望活動は官庁側との意見交換の貴重な機会なので、今後は地元会員からの地域事情に即した要望、意見も伝えていきたいと考えています。

今年度活動は次のとおりです。

○平成30年4月12日（木）

第1回中予支部理事会・中予支部総会・懇親会

（参加者123名）（於：東京第一ホテル松山）

○平成30年7月24日（火）

夏の懇親会・ビアホール

（参加者87名）（於：東京第一ホテル松山）

○平成30年10月19日（金）

違反建築防止公開建築パトロール

松山市建築指導課に帯同、協会より3名参加

○平成30年11月5日（木）

木造住宅耐震化推進戸別訪問（砥部町）

※本部事業（支部単位で活動）

6名参加、67戸訪問、派遣申込2件

○平成30年11月26日（月）

県・市町要望活動 ※本部事業（支部単位で活動）

4名参加 県、県警本部、松山市ほか5市町

○平成31年1月17日（木）

第2回中予支部理事会・新春のつどい

（参加者95名）（於：東京第一ホテル松山）



久万高原町長への要望



松前町長への要望



公開建築パトロール



新春のつどいで愛媛マラソン出場者激励

東予支部活動報告

東予支部長 鴻上 八大

平成30年度は会員増強や会員相互の交流親睦、勉強会を重点目標として活動をしました。

平成30年

- 4月24日 通常総会：新居浜市リーガロイヤルホテルにて開催
- 6月11日 第1回支部役員会：新居浜市リーガロイヤルホテルにて開催
- 6月25日 現場見学会：四国中央市 市民文化ホール建設現場
- 7月1日 建築士の日住宅相談会、パネル展示：新居浜市イオンホールにて開催
- 8月3日 第2回支部役員会：西条市アサヒビール園にて開催
- 8月3日 工法説明会、納涼祭：西条市アサヒビール園にて開催
- 10月19日 違反建築パトロール：新居浜市役所・新居浜消防署・建築士会共同開催
- 11月29日 今治市・西条市・新居浜市・四国中央市への要望活動
- 12月10日 第3回支部役員会：新居浜市リーガロイヤルホテルにて開催

平成31年

- 1月16日 現場見学会：新居浜市 日暮別邸記念館見学会
- 1月22日 支部新年会：新居浜市リーガロイヤルホテルにて開催
- 3月26日 第4回支部役員会：新居浜市リーガロイヤルホテルにて開催



支部新年会



日暮別邸記念館



総務・財務委員会

委員長 松岡 邦吉

■ 意見交換会

県・市町との意見交換会を会長・副会長・支部長・事務局長等と共に共同要望活動時に合わせて実施しました。



大洲市

■ 諸規定の見直し

1. 協会の発展と財政を健全に維持する為に、以下の規程を見直しました。
 - ・表彰規程（表彰者対象者拡大への運用）
 - ・旅費支給規程（コスト縮減と共に実態と整合性が取れるように改正）

※詳細については事務局に問い合わせください。
2. 協会が発展する為に、「その他の規程見直し」も継続して協議しております。



業務・技術委員会

委員長 深見 兼司

平成30年度の活動は試行錯誤の一年でありました。

平成30年6月27日に業務・技術委員会を開催し、下記の通り平成30年度事業計画を立て、活動に取り組みました。

- 一、建築観戦ツアーの実施
- 一、現場見学会の実施
- 一、木造住宅耐震化のための戸別訪問の実施
- 一、既存住宅状況調査技術者の養成と所属会員事務所の公表
- 一、新居浜市建築物改修工事設計に係る業務委託等の実施
- 一、既設ブロック塀に関する相談、現地点検の実施

平成30年度事業活動を振り返り、計画通り実施できた活動も、できなかった活動もありました。

私が特に目玉活動と考えておりました建築観戦ツアーは、「兵庫県林業会館CLT現場見学会」を含む一泊二日の兵庫県観戦ツアーを計画しておりましたが、現場見学会の時期等を含めた調整がつかず実施に至らなかったことが残念でなりません。

今年度は、業務・技術委員会のみなさんご協力のもとで、他委員会活動と連携を取りながら、当委員会の目玉活動であります建築観戦ツアーを必ずや実施して参りたいと考えております。

その節は、会員皆様のご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

既設ブロック塀に関する相談対応について

事務局

平成30年6月18日の大坂北部地震における既設ブロック壁倒壊事故を受け、当協会では安全・安心な地域づくり及び行政協力の観点から、直ちに事務局に一般からの相談窓口を設けるとともに、相談者から要望がある場合には無料現地点検を行う会員の建築士派遣も開始しました。

現地点検は、目視と簡単な計測及び鉄筋探査により点数評価を行い、「安全」、「一応安全」、「注意を要す」、「危険」の4段階で診断したうえで、派遣建築士から維持管理、改修等の助言をしており、3月末までに松山市等4市で計10件（戸建住宅5、その他5）の現地点検を実施しました。

一般の人では調査困難な鉄筋の有無を調べることと、やはり専門家が実施することで信頼度が高く依頼者からは大変感謝されています。

危険な既設ブロック塀については、令和元年度から一部の市町においては解体や改修等に対する補助制度も創設されるので、協会としても既設ブロック塀対策を継続していきたいと考えています。



木造住宅耐震化推進戸別訪問について

事務局



南海トラフ地震等の大地震に備え、昭和56年5月以前に着工された木造住宅の耐震化を推進するため、会員各位が耐震診断・改修設計に携わり、協会としても耐震診断評価に係る事務局運営をしていますが、平成29年度からは、行政協力・社会貢献及び会員業務の拡大を目的として、戸別訪問による普及啓発活動にも取り組んでいます。

29年度は各支部単位で新居浜市・松山市・西予市を対象としましたが、30年度はより効率的に行うため、耐震診断技術者派遣申込がその場で可能な方式を導入している四国中

央市・砥部町・宇和島市において11月に実施しました。

このうち、南予支部は会員が少ないこともあり、当初は最低目標の2班4名以上の確保が危ぶまれたのですが、建築士会宇和島支部に協力依頼したところ快く応じていただき、また、偶然その時期に吉田高校機械建築科の生徒がインターンとして宇和島市役所建築住宅課に研修に来ており、研修の一環として生徒を連れてきた市職員も参加してくれたので、最終的には支部で最多となる9名での活動となりました。

戸別訪問の成果として8件の耐震診断派遣申込を得ることができ前年度から倍増しました。参加していただいた会員に感謝いたします。行政が目指す耐震化率90%は高い目標ではありますが、今後とも各機関との連携や工夫により、効率的な普及啓発に取り組んでいきたいと考えていますのでご協力をお願いします。



第5回マツヤマお城下りレーマラソン2018



2018年10月13日松山市城山公園にて、第5回マツヤマお城下りレーマラソン2018が開催されました。今回も建築士事務所協会チームとして出場!!

マラソン日和の晴天に恵まれ、今大会も2チーム、チームAT、去年より平均年齢5歳あげての出場アダルトチーム改め、アーキテクトチーム。アダルトではない!と不満が上がったための改名ではありません(笑)。【越智・中岡・木村・武知・加藤・處・白石・松田・黒河(9名)】と平均年齢33歳(そろそろヤングも改名が必要?)のヤングチーム・・・【成松・中・柳原・梶原・千三木・村井・大西・辻川・赤松・三島(10名)】(敬称略)で、42.195kmをタスキで繋ぎました。

メンバー全員、いつものお揃いTシャツを身にまとい、快走!壊走!迷走!



ヤングチーム



アーキテクトチーム

全体の成績としては262チーム中、アーキテクトチーム235位、ヤングチーム159位という成績で、今年も参加者全員、怪我なく笑顔で完走することができました。

参加者全員で力を合わせて絆を深め、チームワークを高め、建築士事務所協会をPRする良い機会にもなりました。そして完走後は、すがすがしい達成感と、毎日の仕事とはちょっと違う疲労感を味わうことができました。

毎年恒例となったマツヤマお城下りレーマラソン。第6回目も建築士事務所協会チームとして走れることを楽しみにしています。今年もあなたのところにチームリーダーからの連絡があることでしょう。皆さまの参加是非お待ちしております!

氏名 辻川 晃太郎 **年齢** 29歳
社名 関西住機機

昨年度に続き、本年も参加させていただきました。みんなと汗をかくことで、より一層仲も深まり、とても有意義な機会となっています。来年は今年よりも早く帰ってこれるように、より一層練習したいと思います。

氏名 三島 圭史 **年齢** 34歳
社名 株式会社ライフベース

この度、リレーマラソンに参加させて頂きありがとうございました。皆様と一緒に力を合わせて走らせて頂きました。メンバーの方々と手を繋いでゴールするという楽しい思い出を作る事が出来て本当に良かったです。来年も是非参加させてください。

氏名 白石 泰正 **年齢** 43歳
社名 新企画設計株式会社

初参加させて頂きました。アーキテクトなのかアダルトなのか判らないまま、チーム最年少として約20年ぶりに怪走(かいそう)です。櫛を繋ぎ、声を掛け合うリレーマラソンの良さ、体感しました。運動不足の身体に鞭打ちましたが、相応の快感は味わえます。準備頂きました協会の皆様、ありがとうございました。

愛媛マラソン

井原工業(株)松山支店 / 越智 大輔

第57回愛媛マラソン、気持ちよく走りきることができました。仮装で走ることは実力的に無理ですが、みきゃんの被り物での出走、「みきゃんがんばれ〜」とゆるキャラのおかげで、ちびっこたちの声援をもらいながら、なんとか歩くことなくゴールできました。おまけに、みきゃんの被り物は防寒対策にも最高です。寒い中、本町での事務所協会様のいつもの応援、本当にありがとうございました。



事務局 / 伊藤

愛媛マラソンに出場された皆様、本当にお疲れ様でした。応援に参加させていただくのは2回目になりましたが、老若男女、様々な思いを抱え全力で走るランナーの姿に、応援する側も感動と勇気をいただきました。来年の大会も、沿道から力いっぱい応援したいと思います！一緒に応援に参加していただいた皆様ありがとうございました。



東予支部 / 處 淳子

昨年の頑張りのおかげで今年は抽選なく走らせていただきました。～仮装は「いも」と意識してのセーラー服！肩も太くぬりましたが、金魚やなんでも急遽、金魚帽子をかぶったため見えなくなりました。毎年の皆さんの応援や、切れ間のないボランティアや沿道の方々に力をもらい今年も楽しむことができました。本当にありがとうございました。(ハイテクを駆使したHideさん。写真の提供ありがとうございました！)



住宅フェア報告

平成31年10月27日(土)・28日(日)の2日間、アイテム愛媛で開催された住宅フェア(えひめ暮らしと住まいフェア)へ愛媛県からの依頼により木造住宅耐震相談員として、青年・交流委員会の花山元英(株)日創設計、二宮正行(株)二宮工務店一級建築士事務所、久保田芳典(株)びるり一級建築士事務所、成松幸之助(株)カタリナハウス一級建築士事務所の4名が参加し、多くの相談や質問に親身になり対応させていただきました。



また、28日(日)には約30分の耐震セミナーが実施されました。今回も青年・交流委員会の柳原直和(新企画設計)が担当し、安心・安全・快適な家づくりについて講演しました。こちらも皆さんの関心が高く、参加者は最後まで熱心に聴講されておりました。

なお、当協会は住宅フェアを建築士事務所キャンペーンと位置づけ、会場に協会の幟旗を立て、建築士事務所の業務に関するリーフレット類の配布も行いました。



会員委員会

委員長 武知 美穂

会員委員会は、概ね2ヶ月に一度、委員会を開催し、以下の事業を計画、実施致しました。また会員増強については、賛助会からの切り替えなどで、初期目標（正会員・賛助会員ともに純増8社）に近い数字で年度を締めくくることになりました。

(1) 本会と賛助会の意見交換会 9月27日開催

以前より、本会役員と賛助会役員が意見交換する場を持って欲しいと要望する声があったので、企画しました。

本会事業に対する賛助会からの助成について、事業案を説明させていただき、ご理解をいただきました。

(2) ボウリング大会 10月26日開催 ※賛助会協力費助成事業

前年度まで、青年委員会が主催していたボウリング大会を、本会主催として開催しました。老若男女、多くの参加をいただき、レーンごとのチーム賞もあって大変盛り上がりました。また、懇親会において表彰式を開催し、会員相互のコミュニケーションが図れたと思います。今年度も継続して開催する予定です。



(3) 忘年ゴルフコンペ 11月14日開催

恒例の忘年ゴルフコンペを松山国際ゴルフ倶楽部にて開催しました。

44名の参加をいただき、賑やかなコンペになったと思います。

また、新たな試みとして、当日夜に表彰式を兼ねた懇親会を開催したところ、40名を超えるご参加をいただき、ゴルフ談話で大変盛り上がりました。

優勝 烏谷 陽一郎 2位 鶴原 光平 3位 白石 春夫



(4) 婚活イベント 12月14日開催 ※賛助会協力費助成事業

初の試みで、えひめ結婚支援センターの「de 愛イベント」として、婚活イベントを開催しました。

「愛媛県建築士事務所 de 愛イベント」として実施したところ、協会関係者7名、その他16名の参加があり、協会関係者1名がカップル成立となりました。その後どう発展したかはわかりませんが・・・

委員会としては、今年度ももう一度実施したいという意見がありますので、是非次回も多数のご参加をお願い致します。

■ 建築士定期講習会及び管理建築士講習会を実施しました。

法定講習である「建築士定期講習会」は、中予2回、東予、南予各1回の計4回開催し、計115名の受講がありました。「管理建築士講習会」は1回の実施で、8名の受講がありました。

建築士定期講習

開催日	場所	受講者数
平成30年 7月 5日 (木)	松山市総合コミュニティセンター (松山市)	47名
平成30年 7月26日 (木)	愛媛県総合科学博物館 (新居浜市)	24名
平成30年 8月 3日 (金)	愛媛県歴史文化博物館 (西予市)	25名
平成31年 2月 8日 (金)	松山市男女共同参画推進センター COMS (松山市)	19名

管理建築士講習

開催日	場所	受講者数
平成31年 3月 5日 (火)	えひめ共済会館 (松山市)	8名

■ 既存住宅状況調査技術者講習会を開催しました。

平成30年4月施行の改正宅建業法に対応し、終了考査に合格すると講習実施登録機関である日事連に登録され、既存住宅の取引における重要事項説明対象である、建物状況調査(インスペクション)を実施することができる講習会を開催しました。



開催日	場所	受講者数
平成30年 5月10日 (木)	林業会館 (松山市)	24名

■ 適合証明技術者業務講習を開催しました。

住宅金融支援機構のフラット35を活用するために必要な適合証明業務を行う登録建築士が業務を的確に行うことができる知識や情報を得るための講習会を開催しました。

開催日	場所	受講者数
平成30年 8月23日 (木)	林業会館 (松山市)	22名

■ 避難安全検証法(実践入門編)講習会を開催しました。

昨年1月に開催した「避難安全検証法(入門編)講習」に引き続き、(株)イズミシステム設計様より講師をお招きし「実践入門編」として広く避難安全検証法が採用されている物販店舗(スーパーマーケット)等を題材にして、計算の流れや計算をクリアさせる方法について解説及び簡単な演習を実施しました。



開催日	場所	受講者数
平成30年10月18日 (木)	松山市男女共同参画推進センター COMS (松山市)	36名

■ 開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会を実施しました。

建築士法、並びに愛媛県の「建築士を対象とする講習の指定に関する要綱」による知事指定に基づく研修で、契約締結者となる開設者と、建築士事務所を管理し技術的事項を統括する管理建築士を対象に、建築士事務所の管理・運営を適切に進める上で資質の維持向上を図り、業務委託者の期待に応えるべく業務の適正化や建築物の質の向上等を目指すことを目的に実施しました。



開催日	場所	受講者数
平成30年11月 6日 (火)	テクノプラザ愛媛 (松山市)	32名

■ 防火設備定期検査業務基準及び特定建築物定期調査業務標準講習会を開催しました。

平成28年6月1日に施行された改正建築基準法により、新たに防火設備定期検査報告制度が創設されました。建築士の防火設備定期検査・特定建築物定期調査の適切な実施及び定期報告制度の円滑な推進に資するため、日本建築防災協会のテキストをもとに「防火設備定期検査および特定建築物定期調査の実務講習会」を開催しました。



開催日	場所	受講者数
平成31年 1月31日 (木)	テクノプラザ愛媛 (松山市)	53名



昨年度今までの会員委員会の中の青年部という枠組みから外れ、特別委員会「青年・交流委員会」として新たな組織体系で活動を始めました。

活動内容としては常設委員会の運営の補助のほか、河原学園お仕事フェスタなどへ講師や相談員を派遣し、ひとりでも多くの子どもたちに建築士の仕事に興味や関心をもってもらい、業界の未来と希望に繋げていく青少年育成事業。そして、えひめ暮らしと住まいフェアなど一般消費者向けの催しへ講師や相談員等を派遣し、専門家として市民・県民の建築に対する不安の

解消や自然災害への対策など、安全・安心の街づくりに寄与するための社会貢献活動を実施させていただきました。

また、全国各地に青年の輪を拡げ、未来に向けて手を取り合い共に発展・成長をしていくことを目的に近年積極的に推進させていただいております交流事業「絆プロジェクト」は、今回は福岡県を訪問させていただき多様に渡る意見交換や情報交換のもと、地域の垣根を越えた新しいネットワークの構築に繋がる大変貴重で有意義な機会となりました。更に、交流・親睦事業だけでなく、建築物や街並みの視察や参加者相互の繋がりを強固になる機会の提供も合わせ実施させていただき、参加者ひとりひとりにとって研鑽と成長に繋がる実り多き機会となったと昨年に引き続き大変好評をいただくことができました。



これから先地方においては少子高齢化や人口減少が進み、いずれは地域の主体性を尊重しつつも各地域が手を携え共に運動を推進していくことが必要になっていく時代が遠からずくるのではないかと考えます。10年先、20年先の未来へ向けた業界の発展に繋げていくためにも今から全国各地の同じ志を持つ仲間と更なる青年の輪を拡げ、信頼関係とネットワークの構築に努めるとともに、それぞれの地域がもつ良いところを取り入れた活動を積極的に発展させていきたいと考えております。



地域が元気になり業界全体が活性化していくためにも若手が積極果敢に活動してこそその機会が広がると信じて、まず本年度は正会員若手と賛助会員若手の交流がより活発に行えるそんな機会の提供も行っていきたいと考えております。

これからも皆様のご協力のもとより有意義で実り多き委員会事業を推進していきたいと考えておりますので、今後とも青年・交流委員会の活動にご理解ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

《青年話創会に参加して》

青年話創会も今回で3回目となり、全国に年々青年部会が増えていることが実感できました。ディスカッションでは、地域ブロック・年齢・立場など様々なメンバーで、置かれた状況によって問題も異なる中、設計事務所の社会的地位の向上、業務報酬の適正化、若手社員や若手建築士の育成に至る様々な意見があり、非常に興味深く有意義な会でした。

(新企画設計株) / 柳原 直和

建築士事務所全国大会の当日に若手会員が集まり、青年話創会が開催されました。今回は、同世代の抱えている問題点や今後の青年部の必要性などをテーブルディスカッションしました。例年とは違い近隣の単位会毎の机配置となっており、地方ならではの同じような悩みや問題を抱えていることが分かりました。

今後も同世代の方と交流をし、成長につなげていければと思います。

(株)日創設計 / 花山 元英



第41回愛媛県内高校生建築競技設計の経過報告

この競技設計は、「建築士等の建築技術者を目指す高校生が、自分の思いや夢を「建築」という具体的な「かたち」へと作り上げていく過程で、創造する喜びや発想力の向上を図るとともに、将来信頼される建築技術者としての知識や技術、また、建築技術者としての「心」を育てる。」ことを目的として、当協会のメイン公益事業として毎年開催しています。平成30年度第41回愛媛県内高校生建築競技設計が、皆様のご協力により無事に終えることが出来ましたことをまず、御礼申し上げます。

平成30年7月24日、設計課題と審査方法を学校の先生方、及び協会委員との協議により決定しました。

設計課題は、1年生の教材からのトレースは一般的な屋根形状の木造住宅に、2年生は用途、立地条件を自由とした店舗付き住宅、又は専用住宅（木造、敷地面積500㎡以下）に、3年生は従来の自由課題とすることになりました。

平成30年度の1、2、3年生の応募作品は、一般部門・参加校5校116作品、研究部門・参加校1校2作品でした。

一次審査は平成31年2月5日午前中にDCMダイキ本社大会議室に於いて協会委員で行い、二次審査は同日午後、後援団体代表と協会委員によって行われました。厳正な審査により、愛媛県知事賞を頂点に一般部門55作品、研究部門2作品の入賞が決定しました。今年も高校生の皆さんの思いや夢を「建築」という具体的な「かたち」へと作り上げていく熱い思いが伝わってくる力作揃いで、甲乙つけ難く審査員泣かせで、採点に悩む情景が多々見られました。

表彰式は平成31年2月15日に同会場にて、後援団体の皆様のご出席のもと開催されました。表彰状と楯を授与される高校生の皆さんの晴れやかな姿を拝見し、この競技設計は



今後も発展的に継続しなければならないと実感しました。終わりに後援団体を代表して愛媛県土木部道路都市局建築住宅課主幹

安藤雅人様より作品の感想、高校生の皆さんへのねぎらいと激励、学校の先生方への感謝と期待、加えて当協会への社会貢献として40年間続けられたことへの感謝と今後の期待の言葉を頂きました。

表彰式終了後、上位受賞者3年生3名、2年生1名によりプロジェクターを使った作品プレゼンテーションが行われました。発表者は自分の作品に対する思いや情熱を短い時間でしたが、簡潔にまとめてわかりやすく説明していただき、作品への理解が一層深まりました。また、作品をより良いものにするために、インターネットを利用して情報を収集するなど、時代の流れを感じさせられました。



また、表彰式後の先生方との運営に関する意見交換会では、競技設計にかける高校生の膨大な時間や先生方の苦労話、「今年こそ知事賞を」との意気込みなどお話を聞かせていただき、有意義な意見交換会となりました。

第34回高校生建築アート展は、DCMダイキ本社1階「住まいの創造かん」にて、平成31年2月28日から3月10日まで開催され、期間中たくさんのお客様に来ていただきました。これだけの力作揃いですので、DCMダイキ様の展示会場だけではなく、より多くの方々に作品を見ていただくために、他の会場での展示等を検討する必要性を感じました。

最後に、審査会、表彰式にご出席いただきました各後援団体の皆様や会場を提供いただいたDCMダイキ株式会社様、ご協力をいただきました各学校の先生方や協会委員の皆様にご心より感謝申し上げます。今後も競技設計へのご指導とご協力をいただきますようお願い申し上げます。報告とさせていただきます。

最後に、審査会、表彰式にご出席いただきました各後援団体の皆様や会場を提供いただいたDCMダイキ株式会社様、ご協力をいただきました各学校の先生方や協会委員の皆様にご心より感謝申し上げます。今後も競技設計へのご指導とご協力をいただきますようお願い申し上げます。報告とさせていただきます。



1. 入賞者一覧

(敬称略)

団体名	学年	1 年 生	2 年 生	3 年 生
愛媛県知事賞		松山工業高等学校 (3年) 新川 麻衣		
愛媛県教育委員会 教育長賞		松山聖陵高等学校 大政 翔馬	松山聖陵高等学校 宇都宮紗帆	松山聖陵高等学校 池田 勇介
松山市長賞		松山工業高等学校 石井 萌夏	松山聖陵高等学校 安田 了将	松山聖陵高等学校 中田 真己
(一社)日本建築士 事務所協会連合会 会長賞		松山工業高等学校 小池 大和	松山工業高等学校 生田 偉心	松山工業高等学校 曾我部七海
(一社)愛媛県建築士 事務所協会 会長賞		松山聖陵高等学校 森川 響葉	松山聖陵高等学校 富田 麻衣	松山聖陵高等学校 加川 裕規
(一社)日本建築学会 四国支部愛媛支所 支所長賞		松山工業高等学校 西谷 太伸	松山聖陵高等学校 菅原 瑠希	松山工業高等学校 石丸 由貴
(公社)愛媛県建築士会 会長賞		松山工業高等学校 三好 翔太	松山聖陵高等学校 関谷 樹	松山工業高等学校 河野 珠希
(公社)日本建築家協会 四国支部 支部長賞		松山工業高等学校 大竹 萌花	松山聖陵高等学校 黒田 竣平	松山工業高等学校 堂本 美帆
(一社)愛媛県 建設業協会 会長賞		吉田高等学校 二宮 楓真	東予高等学校 岡田 航汰	松山聖陵高等学校 宮谷 昂規
(株)愛媛建築 住宅センター 社長賞		松山工業高等学校 井関 虹太	松山聖陵高等学校 濱邊 麻帆	松山工業高等学校 金子 慶紀
愛媛新聞社 社長賞		松山聖陵高等学校 野村 勇海	松山工業高等学校 松本 桜	松山聖陵高等学校 田口 翔大
NHK松山放送局 局長賞		松山南高等学校砥部分校 手塚 仁那	松山聖陵高等学校 森 海翔	松山工業高等学校 中尻 愛麗
南海放送 社長賞		松山工業高等学校 佐伯 颯	松山工業高等学校 穴山 成希	松山聖陵高等学校 戸田 恭平
テレビ愛媛 社長賞		松山工業高等学校 松田 侑都	松山聖陵高等学校 竹内 綾香	松山聖陵高等学校 寺岡 健人
あいテレビ 社長賞		松山工業高等学校 喜安 崇仁	松山工業高等学校 河井 柚葵	松山聖陵高等学校 中川 優奈
愛媛朝日テレビ 社長賞		松山聖陵高等学校 大西 孔	松山工業高等学校 陶山 祐磨	松山工業高等学校 小山田真衣
愛媛CATV 社長賞		東予高等学校 松浦 誠仁	松山工業高等学校 乗松 由佳	松山工業高等学校 中矢 愛乃
建通新聞社 社長賞		松山工業高等学校 上岡 龍晟	松山工業高等学校 古茂田舞果	松山聖陵高等学校 鶴山 龍生
(一社)愛媛県建築士 事務所協会 競技設計委員長賞			松山工業高等学校 中西 夢音	松山聖陵高等学校 西岡 亮雅
				東予高等学校 佐伯 拓真
				松山聖陵高等学校(研究部門) 岡野 優斗
				松山聖陵高等学校(研究部門) 魚住 龍矢

2. 入賞者感想文・講評

3年生



感想文

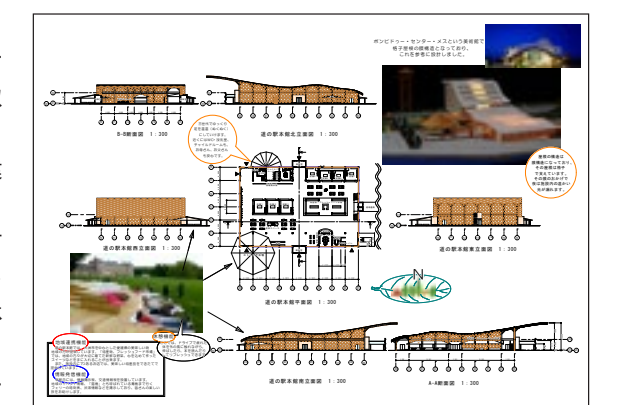
私が「道の駅 温温」の制作に取りかかったのは去年の7月です。プランニングには特に力を入れ、約半年かけ完成させました。全ての人々が満足出来る道の駅にするため、幅広い年齢層、様々な視点からの意見が必要でした。そこで私は、家族にそれぞれの視点から意見を求め、建築的な観点からは学校の先生方からアドバイスを頂きました。意見やアドバイスを下さった多くの人はもちろん、作品制作のための環境を整えて下さった先生方と両親、そして、苦勞を一緒に乗り越えた大切な仲間達。多くの人のおかげで作品を完成させることが出来ました。高校最後の年、私自身の努力が実ったこと、作品制作に携わって頂いた皆さんに恩返し出来たことがとても嬉しいです。

私も来年度からは社会人となり、建設業に携わります。競技設計を始め、松山工業で学んだ多くのことを胸に、周りの方々への感謝を忘れず、日々の仕事に取り組み、社会に貢献していきたいと思えます。

講評

四国と九州を結ぶ交通の要所というロケーションと、海を臨む河口という地勢だけでなく、脇川あらしという気象現象まで巧みにデザインに取り込んだことが素晴らしい。

風の流れに沿った形状の膜構造の大屋根で覆うことで、建物全体にゆるやかな統一感を醸し出すことに成功しています。部屋の用途等によって柱間を変えたりしないで、CLT材を使用した均一なグリッドとしていることも適切な選択でした。構造の制約を受けずに各室を自由に配置することで、休憩、情報提供、物販、防災等の必要な機能を満たすと共に、空間の楽しさを演出しています。こうしたハイテクノロジーを活かした手法は、作者自らが紹介している坂茂等が得意としています。今回の引用は、表層的な物真似に留まらず、建築思想を深く理解して使いこなして、高校生のレベルを大きく超えています。



あえて言えば、丹下の広島ピースセンターのように、2つの建物の間の軸線を大切にされたこと、主の建物と展望台の関係をもっと工夫して欲しかったです。

空間構成の確かさ、細かいところまで配慮されたデザイン、しっかりとしたプレゼンテーション、全てにおいて、優れた最優秀の作品です。

愛媛県教育委員会
教育長賞

松山聖陵高等学校
いけだ ゆうすけ
池田 勇介



『感想文』

1年生の愛媛県内高校生建築競技設計で入賞することが出来な

かったあの日に掲げた『目指せ県知事賞』という目標。毎日、県知事賞を取るにはどうしたらいいのか？いつも頭の片隅で考えながら生活をしていました。自分の納得のいく図面、模型を完成させるのにはどのくらいの時間がどの部分に必要なのか？適切に間に合わなければ全て水の泡。毎日プレッシャーを感じながらも最終的には納得のいく、今までで一番の作品が出来上がりました。しかし、県知事賞を頂くことは出来ませんでした。18年間生きてきてここまで悔しいと思ったことはありませんでした。

た。今まで生きてきて一番頑張ったことだったからなのだと思います。そして、たくさんの人たちのアドバイスを頂き、応援していただいたのに期待に応えることが出来なかった自分自身にも腹が立ちます。僕は職人の道を目指すので進学はしません。なので、競技設計でのリベンジは叶うことはないと思います。しかし、この卒業設計を通して得た忍耐を生かし、新たな目標にも貪欲に、目標に向かって頑張る姿勢を忘れずに頑張っていきます。

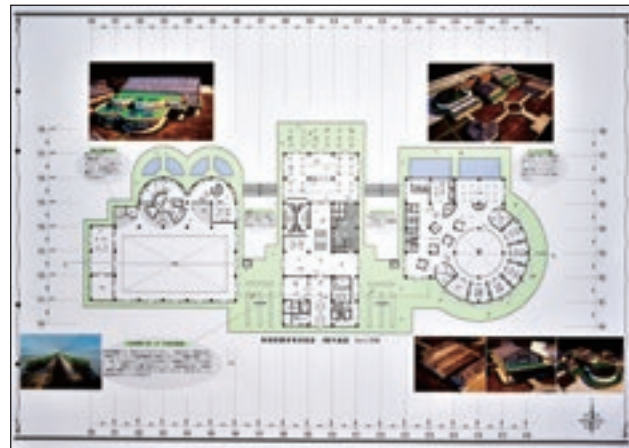
講評

人口減少と農業の担い手不足、里山の景観保全と観光、防災などの社会問題に真正面から取り組み、解決するための施設を提案した構想力が素晴らしい。

建築形態について、内子の街並みや、屋根付きの田丸橋等を参考にしたそうです。設計者が既知かどうかは不明ですが、盈進学園東野高等学校を設計したC. アレグザンダーのパターンランゲージの手法によってデザインされたように見えます。漆喰壁と海鼠壁や屋根付き橋というデザイン言語が、ピロティにより持ち上げられた人口地盤と合わされる等、オリジナルとは全く違う雰囲気で使用され、全体として、統一感のある作品に仕上がっています。才能を感じる高い造形能力があり、成長が期待できます。

研修生の宿舎で、災害時には仮設住宅としても利用できるトレーラーハウスの間取りを数種類用意するといった細かい配慮がある一方で、農機具倉庫や作業用車両置き場、収穫物等の倉庫が不足している等の荒削りな面もみられます。また、建物の内部だけでなく、園地の通路についても、回遊性を確保して欲しかった気がします。

高い社会性と、大胆で独創的な造形が魅力的な、極めて優れた作品です。



松山市長賞

松山聖陵高等学校
なかた まさき
中田 真己



『感想文』

私は昨年、愛媛県内高校生建築競技設計二年生部門で「愛媛新聞社社長賞」を頂きました。

とても素晴らしい賞を頂いたのですが、私は県知事賞を強く望んでいたため、自分のふがいなさに失望することもありましたが、その悔しさをバネに三年生では県知事賞をとるぞと奮闘しました。ですが、最後の最後で気を抜いてしまい、自分の納得いく設計が出来ていないまま今回の「松山市長賞」を頂きました。大変うれしかったのですが、本当に自分が頂いてもいいのだろうかという後ろめたさもありました。ですが、それが私の全力だと思います。しかし、この設計に精一杯取り組んだ瞬間はとてもかけがえないものであり、今の大事な思い出です。来年こそは、とはいきませんが、この気持ちと意欲をさらに磨き上げ、次のジャンプ台にしていけたらと思います。

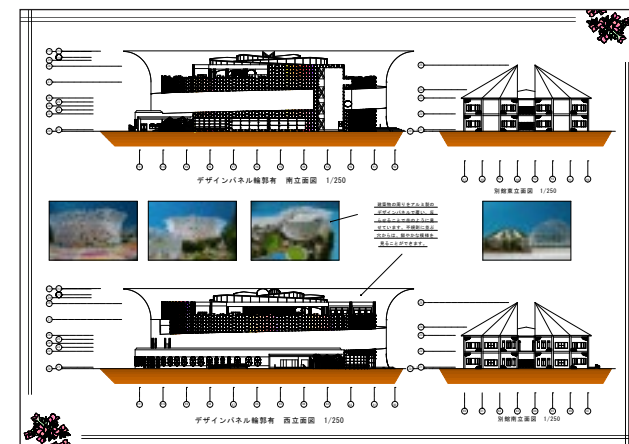
今回に限らず、最後まで付き合ってくれた先生方、友人、家族、そして私の図面を見ていただいた方々に深くお礼を申し上げ、この思いを胸に設計に携わっていきたいと思います。

講評

美術品とともに植物を展示対象とする美術館構想は斬新で、広大な敷地は建築物のほか、見どころ満載の植物園として緑、自然で彩られ、正に「BOTANICAL (植物的な) ART」となっています。しかも設計者は単なる文化施設として設計したのではなく、この施設が大地震等の被災者の避難所として、被災者の心と身体を植物と美術が癒すことを期待し、かつ松山市梅津寺地区の観光振興をも視野に入れたコンセプトが素晴らしい。

巨大円形平面の本館は、2～3階が1/4円単位でスキップフロアを構成しており、螺旋形スロープが設けられた中央の4層吹き抜け空間は、設計者が「まるで植物の内部に居よう」と言う最大の見せ場で実に魅力的です。空間構成能力の高さを感じるとともに平面図だけでは把握が難しい構造を断面図と簡易構造図で的確に表現できています。

外観では、外壁を覆った花卉のごとく反らせたアルミ製デザインパネルが実に大胆で独創的です。また、サブ施設の別館も、その平面、屋根形状ともデザイン性に優れ、外構の多様な要素の構成力とあいまって非常に完成度の高い作品となっています。



2年生

愛媛県教育委員会 教育長賞

松山聖陵高等学校
うつのみや さほ
宇都宮 紗帆



『感想文』

私は昨年、愛媛県内高校生建築競技設計1年生部門につづき今回、店舗付き住宅「託児所そらまち」という作品で『愛媛県教育委員会教育長賞』を受賞できたこと大変嬉しく思います。建築デザイン部として1年間様々なコンペティションを行ってきて、イメージしたものを具体化させる難しさや設計することの大変さを感じました。そして自分の作品が仕上がることの達成感、嬉しさも実感することができました。

今回の設計では、普段の反省点から、時間に余裕を持って進めることができたので確認の時間も多くとることができました。

今後の目標としては、自分自身が悔いのない自信の持てる作品を完成させることです。設計を進めていくうえで、同じ建築デザイン部の友人、先生方にはとても助けられました。来年度の卒業設計では3年目の入賞を果たし、感謝の思いを結果に残したいです。仲間でお互いに意見を交換し、自分の成長につながるものを吸収しながら設計に取り組んでいきたいと思っています。

2年生総評

今年の設計課題は、店舗付住宅または二世帯住宅、構造は木造、敷地面積500㎡以下、店舗用途及び立地条件は自由ということで、設計者が自由に組合せを発想できるものとなっています。今年の作品47点は、全て店舗付住宅の提案となっていました。審査員はまず、「建物の方位」「道路と敷地の関係と敷地の使い方」「店舗の発想」「住宅の構成」「それぞれの出入口」「室の大きさの適正さ」「図面の仕上がり具合」「コンセプトとの整合性」などを全体的に捉え、採点基準にある「設計主旨と図面」「プレゼンテーション内容と思い・発想」などを基に点数をつけています。

今年の作品も、計画図面や立面図及び模型写真がきれいに仕上がりが彩色され、高校生の皆様が懸命に努力された跡がうかがえる素晴らしい作品ばかりであり、審査員泣かせの審査でした。審査員はどうしても、道路とか方位を確かめて設計図面を理解しようとする。条件にはないのですが、道路・方位・延床面積について、書込みが必要だと思います。それは道路の位置や方位が、敷地への入口や室の配置と重要な関係にあるからです。先生方のご指導を含めて今後に期待したいと思います。

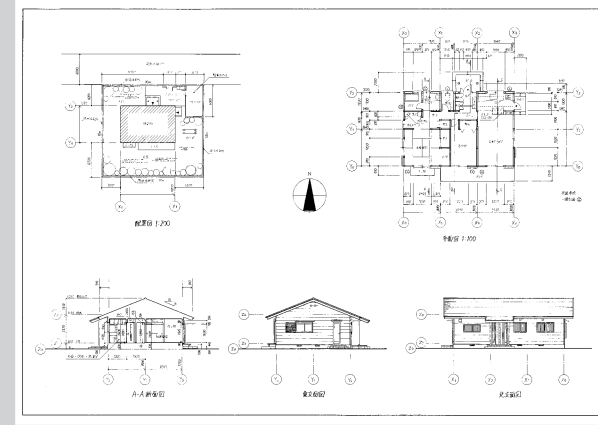
愛媛県教育委員会教育長賞を受賞された、宇都宮紗帆さんの作品は、国を挙げて整備に取り組んでいる託児所（保育所）と住宅を組合せた作品で、良い着眼点だと思います。多角型の保育室を可愛く正面に据え、『えんぴつ』『シャボン玉』『きのこ』をイメージとし、それを住宅『家』が包み込んでいる優しさを感じ取れました。プランや図面表現も良く、アプローチと園庭など豊かな空間が広がる素晴らしい力作でした。

その他の作品としては、それぞれの好みのお店が図面の中に展開し、細やかな気配りが、庭やテラスに表現され「こんな店を創りたい」との思いがよく伝わる好印象の提案作品であると感じました。良い建築を作るため、良い空間を体験し、多くの建築雑誌を読み、自分が住みたい『家』を表現することにチャレンジして、来年は愛媛県知事賞を目標に頑張ってください。

1年生

愛媛県教育委員会 教育長賞

松山聖陵高等学校
おおまさ しょうま
大政 翔馬



『感想文』

今回、愛媛県内高校生建築競技設計で愛媛県教育委員会教育委員長賞という賞をいただくことができ、とてもうれしく思います。去年4月に松山聖陵高等学校に入学し、使い方もわからない道具もある中、少しずつ建築について学び、1年間を通してやってきたことが今ようやくこういった形で実を結んだのかなと思います。

製図では、線の強弱を大切に、そのうえで図面を汚さないように書くことを意識して書きました。製図をする中で、わからないことやうまくできないことがたくさんありましたが、同級生や先生方からのアド

バイスもあり、最後までモチベーションを落とすことなく1枚目より2枚目、2枚目より3枚目というように成長しながら製図を描くことができました。これからも、周りの方々の意見を素直に受け入れ、初心を忘れず2年次の設計にも取り組んでいきたいと思っています。

1年生総評

1年生の設計課題は、学校教材の木造住宅の模写を、手書きで図面作成することでした。現在の実務では、手書きで図面を作成する機会はほとんどなくなりましたが、建築製図の基本的な描き方や表現の仕方を手書き図面で身につけることは大切だと思います。

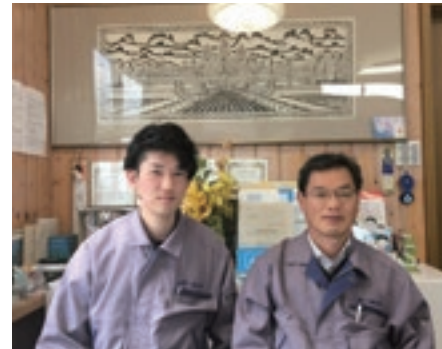
建築競技設計に出品された作品の審査基準を、線の種類や形状をいかに使い分けているか、文字や数字の大きさ及び間隔が適当か、図面全体のレイアウトが整っているかとし、多くの人で審査しました。課題が同じということもあり、入賞した作品に大差はなく、それぞれ線の強弱や間隔に統一感があり、全体のレイアウトも良く整っていました。

今後、皆さんが企画設計したものを正確にわかりやすく伝えるためにも、さらにしっかりとした製図能力と美しい表現能力を養ってください。

高校生競技設計入賞者 あの人はいま

東予高校3年在学時 平成26年度第37回高校生建築競技設計において「能島に見える温泉旅館 春風駘蕩 とうじぶね」で愛媛県知事賞受賞 有限会社 一城企画にお勤めの越智拓海さんに会ってきました～

穏やかな笑顔で爽やかに出迎えてくれた越智さんに色々質問させて頂きました。私自身の子供も同世代の方への取材はとてむわくわくした時間。開設者である代表取締役の城戸一也氏もお忙しい中ですがご協力頂きました。



◆ 高校時代の設計事務所のイメージと今

夜遅くまで残業する～というイメージでしたが、CADはじめ業務関連のソフトが充実しているので、作業効率が良く働けております。

◆ 主な業務

新築物件等のプランをはじめ、それに伴う確認申請図面の作成などです。
木造の耐震診断や耐震化への設計、改修などの補佐も覚えていきたいです。

◆ 携わったもので印象深いもの

現在進行形の7～8月完成予定の平屋の木造住宅。下地材に至るまでこだわりがあり、勉強熱心なお施主様との打ち合わせは毎回気が抜けませんが、「より多くの知識を持ちたい！」というモチベーションにつながっています。

◆ 好きな建築物

神社やお城

◆ 将来の抱負

幅広い知識を持ち、お客様の疑問やニーズに対応しながら、成長していきたいです。
リフォームも難しいけれど、やりがいもあるのかなと感じています。

◆ 開設者の城戸一也氏からの期待

- 木造をメインに担当していく中で、お客様からの要望に柔軟に対応していることに感心しています。
- ① お客様がインターネット等で身に付けた俄か仕込みの不完全（中途半端）な知識の上をいく、プロとしての知識の獲得
 - ② 事務業務もソフトなどの能力を最大限に活用しながら、物事を「極める」ことを心掛けてほしいと考えています。

◆ 趣味など

冬なら休日はスノーボード、夏ならスケートボードですね。あと、こってり系のラーメンが好きで西条市内の店はほとんど制覇しております。（^^）とのことでした～

（株）Deco / 處 淳子



賛助会会長
松 俊彦

新緑の候 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は愛媛県建築士事務所協会正会員の皆様方には格別のご高配を賜り賛助会員一同厚く御礼申し上げます。

昨年は南予地域での水害により多くの犠牲と被害に見舞われ、まだまだ復旧したとは言い難い状況で1年がたたんとしております。被害にあわれた方々に深くお悔やみを申し上げたいと存じます。また経済統計の不具合や官・民でのコンプライアンスに対する問題が噴き出た年でしたが地方経済も遅々として回復しておらずに厳しさが続いています。大阪万博も決まりより近い大阪エリアでの大型特需などにも期待をかけ春を迎え、経済動向も上昇していくことを望んで止みません。

今年も松山市内を駆け抜ける愛媛マラソンには当協会からも多数の方々に参加され、正会員の先生方、事務局の皆様と共に愛媛県建築士事務所協会の垂れ幕、のほりをもって応援していただきました。多くの方が完走され、また努力の甲斐なく各ゲートでタイムアウトされた方もおられますが、(かくいう私も自主リタイヤ組でしたが)。今年もたくさんの感動を頂きました。

住宅業界では「2020年度省エネ基準」の義務化が延期となり省エネ化、高断熱化への動きに水を差すような動きもありましたが、健康のための省エネ・高断熱化という意識が浸透し始めてきました。

更に HEAT20-G2 などの更に高断熱の性能を誘導基準とし、LCCM を目指すビルダーも増加の一途をたどって新しい局面が訪れようとしています。

さて賛助会活動として定期的に開催している「商品・工法説明会」ですが今年度も賛助会会員一同より建材の各分野の新しい商品や工法、新しい制度などの講習を準備し、正会員の皆様方や従業員の方々のためになる説明会を心掛け実施してまいります。

事務所協会全国大会にも賛助会員の方からもさらに多くの方の参加を呼びかけ愛媛県建築士事務所協会の活動に寄与したいと考えます。

更に未来に向けて、愛媛県建築士事務所協会が更に発展することを賛助会会員一同祈念しております。



宝利建築設計事務所

代表者 宝利 秀久
 〒 799-0422 四国中央市中之庄町 1423-2
 TEL 0896-23-8731 FAX 0896-24-1313

瀬戸内海からの清々しい風が吹き上げる高台にある宝利建築設計事務所 宝利所長を訪問させていただきました。

趣味のバイクを颯爽と乗りこなし、四国の道の駅を3カ月で走破(4000キロ)、また四国遍路は奥様とバイクと一緒に巡ったりと、かなり充実しておられるご様子です。

そんなアクティブな所長を囲むのが5人のキラキラ女子!(あえて、女性ではなく(笑))華やかで明るく楽しい職場で、アイデア溢れるプランが生み出されているようです。

その秘密は、勤務時間のフレックス制の導入、個人負担を極力減らす工夫によって、結婚や子育てをしながらも能力ある女性が、時間を効率的に使い生き生きと働ける職場が実現されているからだと思いました。同席していたメーカーの方の「いつも明るく楽しい職場ですよ〜」とのコメントには、所長とスタッフの方々の信頼の強さを物語っていると感じております〜



P S 池のあるお庭を設計してください〜(笑) 金魚屋に嫁いだ者のつぶやき

訪問者: (株)Deco/ 處 淳子



有限会社 広藤鉄筋

本社: 〒791-1123 愛媛県松山市東方町甲976番地
 TEL089-963-3246 FAX089-963-3247
 創立: 昭和46年12月 事業: 鉄筋工事一式

経営理念

建造物の目に見えない部分で、安全性と耐久性を支える基本となっているのが鉄筋の力です。

私たちは、この鉄筋加工・施工事業を通して、建造物の信頼される基礎となるだけでなく、技術の向上や人材の育成、先端設備の導入による安全衛生の確保をしております。また、維持向上をし続ける品質と技術を提供したうえでの施工目標達成及び工期を厳守をする企業としての社会的使命を果たして、地域社会の礎となり、新しい発展に貢献したいと願っています。



細物用(D10~D16)第1加工場棟



太物用(D16~D51)第2加工場棟



BCJ 認定 段取り鉄筋ユニット工法

中村写真事務所

代表者 中村 誠二
〒791-1102 松山市来住町 272-7
TEL 089-970-0478 FAX 089-916-9322

この度賛助会員として入会させていただきました中村写真事務所と申します。
当事務所では建築撮影はもちろん、アルバム制作やパネル、額装も承っています。
撮影分野はいろいろですが、特に建築撮影が一番の得意分野です。
またドローン空撮にも力を入れていて、竣工写真に必要な航空写真も機動力を活かし、
より良い条件で安価に撮影することができます。
会員の皆様のお役に立てるよう頑張っていきますので、どうぞよろしくお願い致します。



(平成30年4月1日～平成31年3月31日入会)

正会員

(株)カタリナハウス一級建築士事務所

所在地：松山市竹原町1丁目10番地22
TEL：089-916-3332
FAX：089-916-6233
代表者：成松 弘之助

山本建設(株) 二級建築士事務所

所在地：松山市古川北1丁目24番18号
TEL：089-956-1212
FAX：089-956-1211
代表者：山本 太平

S企画二級建築設備設計事務所

所在地：松山市北吉田町377番地の13
TEL：089-971-3543
FAX：089-971-3640
代表者：仙波 利彰

(株)H&M一級建築士事務所

所在地：西条市神拝甲150番地1
TEL：0897-47-5977
FAX：0897-47-5966
代表者：山本 宏

宝利建築設計事務所

所在地：四国中央市中之庄町1423-2
TEL：0896-23-8731
FAX：0896-24-1313
代表者：宝利 秀久

(株)南洋建設一級建築士事務所

所在地：松山市余戸南1丁目22番52号
TEL：089-995-8008
FAX：089-995-8009
代表者：泉田 保夫

(株)マツモト一級建築士事務所

所在地：松山市南吉田町2189番地1号
TEL：089-972-6090
FAX：089-972-6091
代表者：松本 仁

(株)ティーメック

所在地：松山市美沢1丁目8番46号
TEL：089-922-1060
FAX：089-922-1061
代表者：松岡 彰彦

SMCリフォーム(株)一級建築士事務所

所在地：新居浜市磯浦町16番6号
TEL：0897-33-4858
FAX：0897-32-5502
代表者：雨宮 幸藏

(株)濱崎組一級建築士事務所

所在地：松山市和泉北1丁目13番39号
TEL：089-946-1811
FAX：089-946-1822
代表者：濱崎 増司

賛助会員

吉田建設(株)

所在地：今治市美須賀町二丁目1番地の2
TEL：0898 - 22 - 3113
FAX：0898 - 23 - 5411
代表者：吉田 透

(株)友清白蟻

所在地：松山市内宮町513番地
TEL：089 - 978 - 2630
FAX：089 - 979 - 6212
代表者：友清 重孝

(有)イツワ工業

所在地：伊予市三秋54番地
TEL：089 - 983 - 3837
FAX：089 - 983 - 6663
代表者：濱田 忠昭

(株)建芯

所在地：松山市余戸西1丁目2-22
TEL：089 - 994 - 8938
FAX：089 - 994 - 8939
代表者：赤松 学

河原デザイン・アート専門学校

所在地：松山市二番町1丁目12-2
TEL：089 - 931 - 9111
FAX：089 - 946 - 0074
代表者：白石 隆保

エム・ツー設備設計

所在地：松山市三町2丁目16-28
TEL：089 - 970 - 3539
FAX：089 - 909 - 3540
代表者：東 正司

合同会社ゆやま事務所

所在地：松山市久万ノ台414 シェロドラゴ2F
TEL：089 - 923 - 5370
FAX：089 - 906 - 4063
代表者：柚山 宏和

(有)広藤鉄筋

所在地：松山市東方町甲976番地
TEL：089 - 963 - 3246
FAX：089 - 963 - 3247
代表者：廣藤 幸一

(株)クボタ建機リース

所在地：松山市来住町1469-1
TEL：089 - 958 - 7008
FAX：089 - 958 - 7009
代表者：久保田 大介

中村写真事務所

所在地：松山市来住町272-7
TEL：089 - 970 - 0478
FAX：089 - 916 - 9322
代表者：中村 誠二

ITO エンジニアリング

所在地：松山市粟井河原363-29
TEL：089 - 994 - 3069
FAX：089 - 994 - 3424
代表者：伊藤 誠治

グルメ紀行

ブランチ&ディナー ナッツフォードテラス
(BRUNCHI&DINNER Knutsford Terrace)



1年間事務所協会が移転していた、グランディア千舟のすぐ北側に立つ大きなフライパンが目印の建物。案内された個室の扉も、取っ手がフライパン。

実は、JAAFの編集会議をこちらで開催させて頂きました。10人程度のランチミーティングにぴったりの場所。

気付けばいろんなところにフライパンが・・・シェフはどれを手にするのでしょうか。

旬の素材と心からのおもてなし。笑顔が素敵な店員さんが迎えてくれます。



＜押しメニュー・ビアカンチキン＞

6種類のスパイスで一晩漬け込み、グリル前に10種類の香辛料をすり込んで焼くことで柔らかくジューシーに！

パエリア、ローストビーフ、店仕込みの創作南欧料理などメニュー内容はとっても豊富で、なんとデリバリーも。←デリバリーも別の委員会で利用したことがあります。

夜はワイン飲み比べセットなどもあり、多種多様な楽しみ方ができるお店です。



住所：〒790-0003
愛媛県松山市三番町4-3-11
千舟スカイビル
電話：089-913-0055
営業時間：11:00～15:00、
17:00～23:00
定休日：年中無休
駐車場：無

(株)大野設計 / 大野 仁

グルメ紀行

かくれ野 善



住宅街の中にひっそり灯る看板。ドアを開けると、黒に赤のアクセントを効かせたシックな店内は、おしゃれな中にも田舎のおばあちゃんちに来たような落ち着きを感じます。

突き出しをつついてみると、大将の本日のおすすめ「おこぜの唐揚げ」が運ばれて来ました。からっとした皮とふっかふかの白身を熱々のつゆに付けていただきます。

お店の一番人気、もやしホルモンも、オリジナルのタレが、ビールのピッチを上げてくれます。

今夜も店内は、大将が振る舞う料理の数々に、地元の呑兵衛ファンから家族連れの方々の胃袋が大満足のご様子でした。



昨年10月に内装をリニューアルされた、女将さんお気に入りのレストルーム



住所：〒799-1101
西条市小松町新屋敷甲 229-1
電話：0898-72-4999
営業時間：18:00～翌0:00
(ラストオーダー 23:30)
定休日：日曜

(株)Deco / 處 淳子

お土産紀行

ブラッドオレンジ梅酒

太陽の光をいっぱいにあびた宇和島特産のブラッドオレンジをたっぷり使用
大人のお土産 “お酒” です



道の駅みなとオアシスうわじま

きさいや広場

宇和島市弁天町1-318-16



道の駅

みま

宇和島市三間町務田180-1

特産品を扱っているお土産売場、覗いてみるとジュース？お酒？手に取った商品
“ブラッドオレンジ梅酒”・・・とは

海から伸びた急斜面、自然が生んだ複雑なリアス式海岸と温暖な気候、郷土の先人から受け継がれた長年のみかんづくり。その全てが生かされてシチリア産の希少種ブラッドオレンジは宇和島の地で栽培されています。

たわわに実ったみかんの中にひときわ赤く輝くダテナ果実「ブラッドオレンジ」その特徴のある芳醇な香り、すっきりした酸味と濃厚な甘みのハーモニーを存分にお楽しみ戴けます。・・・だそう・・・。

【飲み方は？】

まずはよく冷やしてロック。次にビール割（梅酒2：ビール8）

ジンとソーダを加えたスッキリとしたカクテルは男性向け

最後に最もお勧めがソーダ割（梅酒2：ソーダ8）

「梅酒」の概念を覆す「梅酒」ぜひ一度お土産にいかがでしょう、皆様お試しあれ!!



(株)シンツ / 入川 祐司

広報・渉外委員会の委員長になり約半年が経ちました。年度途中の委員長交代となり、委員の皆さんに頼りながらのJAAF 発刊作業でした。

今年度は元号も変わり、新しい時代への建築設計の役割と使命を自覚し、社会貢献できる団体としての協会活動を広く皆さんに知っていただく、その一つとして、広報・渉外委員会の活動を進めていきたいと思ひます。SNSの活用など広報活動の普及など新しいことにもチャレンジしていく所存です。

最後に、広報紙JAAFの編集・発刊に際してご協力いただきました関係者の皆様、行事やイベントでの、取材・投稿に心よりお礼を申し上げます。

委員長 大野 仁



(一社)愛媛県建築士事務所協会 会員の皆様へ 自動車共済[集団団体制度]のご提案!

(一社)愛媛県建築士事務所協会様は、西日本自動車共済協同組合と自動車共済について「紹介取次所」契約を締結しております。さらに20台以上の予約または成約をいただきますと「集団団体」として**会員及びその役員・従業員の皆様のお車は、一般のご契約に比べお得にご契約いただけます。**

1 お得な団体割引を適用!

愛媛県建築士事務所協会の会員及びその役員・従業員の皆様の自動車の契約台数が20台以上になりますと団体割引10%が適用されお得です。

(契約台数が10~19台の場合は、団体割引は5%になります。)

2 示談交渉サービス付き

自動車共済の契約にはすべて示談交渉サービス(対人事故・対物事故)が付いています。自動車共済協同組合の事故処理専任職員がお客様に代わり事故解決まで親身に対応します。

3 充実補償と安心サービス

- 人身傷害共済 ● 弁護士費用特約
- 24時間365日事故受付サービス(通話料無料)
- 自動車共済ロードサービス※適用にあたっては諸条件がございます。詳細は取扱代理所におたずねください。

4 他社での割引も引継ぎOK!

現在ご加入の自動車保険(共済)のノンフリート等級、事故有期間を自動車共済でも引き継ぎます。

ご注意

●本チラシは集団団体の概要を記載したものです。●集団団体のお取扱方法および各共済・特約の補償内容および共済金をお支払いできない場合、割引等の詳細については自動車共済のパンフレットまたは「自動車共済ご契約のしおり」をご覧ください。●取扱代理所におたずねください。●ご契約の際には、必ず「重要事項説明書」をお読みください。●取扱代理所は西日本自動車共済協同組合との委託契約に基づき共済契約の締結・共済掛金の領収等の代理業務を行っております。取扱代理所と締結され有効に成立した共済契約は西日本自動車共済協同組合と直接契約されたものとなります。●自動車共済にはじめてご加入の際には、ご契約のお車の台数に関係なく、共済掛金とは別に掛金(1口1,000円)または員外利用料が必要となります。



お見積は無料です。ご加入中の自動車保険証券、車検証をご用意ください。

【引受組合】 西日本自動車共済協同組合

● お問合せ先(共済代理所)
愛媛県自家用自動車協会
〒791-1114 松山市井門町454-4
TEL:089-956-2168 FAX:089-958-5302
担当 川人 康司(カフヒト コウジ)

【愛媛県支部】 松山市井門町454-4-2F TEL089-905-1195 FAX089-905-1227
【本 部】 福岡市博多区東比恵2-15-25 TEL092-441-5901 FAX092-441-5907
NJ840.1807.0055.999999-1807(1)1000



発行 一般社団法人 愛媛県建築士事務所協会

〒790-0002 愛媛県二番町4丁目1-5

Tel.089-945-5200 Fax.089-945-5318

E-mail ehimekai@mist.ocn.ne.jp